

27日 金曜

## ダニエル

5:13 そこで、ダニエルは王の前に連れて来られた。王はダニエルに話しかけて言った。「あなたは、私の父である王がユダから連れて来たユダからの捕虜のひとり、あのダニエルか。

5:14 あなたのうちには神の靈が宿り、また、あなたのうちに、光と理解力と、すぐれた知恵のあることがわかった、と聞いている。

5:15 先に、知者、呪文師たちを私の前に召して、この文字を読ませ、その解き明かしを私に教えさせようとしたが、彼らはそのことばの解き明かしを示すことができなかつた。

5:16 しかし、あなたは解き明かしができ、難問を聞くことができると聞いた。今、もしかなたが、その文字を読み、その解き明かしを私に知らせることができたら、あなたに紫の衣を着せ、首に金の鎖をかけさせ、国第三の権力を持たせよう。」

5:17 そのとき、ダニエルは王の前に答えて言った。「あなたの贈り物はあなた自身で取っておき、あなたの報酬は他の人にお与えください。しかし、私はその文字を王のために読み、その解き明かしをお知らせします。

5:18 王さま。いと高き神は、あなたの父上ネブカデネザルに、国と偉大さと栄光と権威をお与えになりました。

5:19 神が彼に賜わった偉大さによって、諸民、諸国、諸國語の者たちはことごとく、彼の前に震え、おののきました。彼は思いのままに人を殺し、思いのままに人生かし、思いのままに人を高め、思いのままに人を低くしました。



Bible Reference  
聖書の記述

5:20 こうして、彼の心が高ぶり、彼の靈が強くなり、高慢にふるまつたので、彼はその王座から退けられ、栄光を奪われました。

5:21 そして、人の中から追い出され、心は獸と等しくなり、野ろばとともに住み、牛のように草を食べ、からだは天の露にぬれて、ついに、いと高き神が人間の国を支配し、みこころにかなう者をその上にお立てになることを知るようになりました。

5:22 その子であるベルシャツァル。あなたはこれらの事をすべて知っているながら、心を低くしませんでした。

5:23 それどころか、天の主に向かって高ぶり、主の宮の器をあなたの前に持つて来させて、あなたも貴人たちもあなたの妻もそばめたちも、それを使ってぶどう酒を飲みました。あなたは、見ることも、聞くことも、知ることもできない銀、金、青銅、鉄、木、石の神々を賛美ましたが、あなたの息と、あなたのすべての道をその手に握つておられる神をほめたたえませんでした。

ダニエル書のテーマは、捕囚の民となったイスラエル人が、その地でも主に従つて生きるときに祝福と回復が与えられるということです。ダニエルたちは、異教の人や社会に敵対して争うではなく、あくまでも王の権威のもとで生きました。しかし王に盲従するのではなく、神に従うことのゆえに時には不服従という方法を取ったのです。

それは立場を弱くする選択でありましたが、しかし神がおられるという確信を捨てませんでした。確かに神は、この成功権力者である王に対しても、絶対者であられ、王の高慢と放縫にさばきを下される方です。

その信仰を持つとき、私たちも異教の共同体の中にありながらも、主に従うことができるのです。そのように勝利をいただきましょう。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満たしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？

